

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 17日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所 名古屋市中村区名駅南1-11-5 エステート名古屋ビル5F	
氏 名 大鉄工業株式会社 名古屋支店	
執行役員支店長 山田 吉博	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-562-2256	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大鉄工業株式会社 名古屋支店
事業場の所在地	名古屋市中村区名駅南1-11-5 エステート名古屋ビル5F
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 53億6700万円
③ 従業員数	34
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	※ビル建設工事 ・汚泥（杭・土留め工事）→中間処理業者に委託して脱水後、選別をして材料として再生利用 ・廃プラスチック、木くず→中間処理業者に委託して破砕後、燃料として再資源化 ・紙くず、金属くず→中間処理業者に委託して破砕後、材料として再利用 ・石膏ボード→中間処理業者に委託して破砕後、建設材料として再生利用 ・コンクリートがら、アスファルトがら→中間処理業者に委託して破砕後、建設材料として再生利用

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店

執行役員支店長

(任命)

支店廃棄物処理総括責任者

各作業所

作業所長

(任命)

作業所廃棄物処理責任者

廃棄物処理担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	3446t	101t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	2600t	80t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 可能な限り脱水後搬出する ・ 可能な限り材料はプレカット材で搬入する ・ 梱包材の簡素化及び再利用化の実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組みの継続実施

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店

執行役員支店長

(任命)

支店廃棄物処理総括責任者

各作業所

作業所長

(任命)

作業所廃棄物処理責任者

廃棄物処理担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排 出 量	55t	115t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排 出 量	50t	90t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 上記取組みの継続実施 ・ 可能な限り材料はプレカット材で搬入する ・ 梱包材の簡素化及び再利用化の実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組みの継続実施

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店

執行役員支店長

(任命)

支店廃棄物処理総括責任者

各作業所

作業所長

(任命)

作業所廃棄物処理責任者

廃棄物処理担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排 出 量	50t	3t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導 ・ 余分なコンクリートは搬入業者で回収する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排 出 量	40t	2t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 上記取組みの継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組みの継続実施

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店

執行役員支店長

(任命)

支店廃棄物処理総括責任者

各作業所

作業所長

(任命)

作業所廃棄物処理責任者

廃棄物処理担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	がれき類
	排 出 量	92t	234t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導 ・ 余分なコンクリートは搬入業者で回収する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	がれき類
	排 出 量	70t	180t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 上記取組みの継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組みの継続実施

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店

執行役員支店長

(任命)

支店廃棄物処理総括責任者

各作業所

作業所長

(任命)

作業所廃棄物処理責任者

廃棄物処理担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	排 出 量	391t	28t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導 ・ 余分なコンクリート・アスファルトは搬入業者で回収する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	排 出 量	300t	25t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 上記取組みの継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組みの継続実施

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店

執行役員支店長

(任命)

支店廃棄物処理総括責任者

各作業所

作業所長

(任命)

作業所廃棄物処理責任者

廃棄物処理担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設 混合廃棄物	
	排 出 量	231t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設 混合廃棄物	
	排 出 量	180t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 上記取組みの継続実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 廃棄物の分別について作業員に指導
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組みの継続実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	3446t	101t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0t	101t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	3446t	58t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0t	43t
	(これまでに実施した取組)		
	・可能な限り脱水後搬出する		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	55t	115t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	55t	115t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	11t	115t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	44t	0t
	(これまでに実施した取組)		
	・可能な限り材料はプレカット材で搬入する ・梱包材の簡素化及び再利用化の実施		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	50t	3t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	50t	3t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	50t	2t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0t	1t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 余分なコンクリートは搬入業者で回収する		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	がれき類
	全 処 理 委 託 量	92t	234t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	86t	212t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	92t	138t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0t	96t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 余分なコンクリートは搬入業者で回収する		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	391t	28t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	243t	5t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	391t	28t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0t	0t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 余分なコンクリートは搬入業者で回収する		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設混合廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	231t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	230t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	182t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	49t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	2600t	80t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	80t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2600t	46t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0t	0t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0t	34t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・ 可能な限り脱水後搬出する		
	※事務処理欄		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	50t	90t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	50t	90t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10t	90t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	40t	0t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・廃棄物の分別について作業員に指導		
	※事務処理欄		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	40t	2t
	優良認定処理業者への処理委託量	40t	2t
	再生利用業者への処理委託量	40t	1t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	1t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・廃棄物の分別について作業員に指導		
※事務処理欄			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	がれき類
	全 処 理 委 託 量	70t	180t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	65t	163t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	70t	106t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	74t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・廃棄物の分別について作業員に指導		
	※事務処理欄		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら
	全処理委託量	300t	25t
	優良認定処理業者への 処理委託量	186t	4t
	再生利用業者への 処理委託量	300t	25t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・廃棄物の分別について作業員に指導		
	※事務処理欄		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設 混合廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	180t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	179t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	142t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	38t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能な限り品目ごとに分別収取し排出量を抑制する ・廃棄物の分別について作業員に指導		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	がれき類	がれき類	混合廃棄物
	名称(任意の名称を記入してください)	建設汚泥	その他廃プラスチック	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	その他金属くず	その他ガラス、コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	その他がれき類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	管理型建設混合廃棄物
①	排出量(t)	3446	101	55	115	50	3	92	234	391	28	231
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託した全量(t)	3446	101	55	115	50	3	92	234	391	28	231
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	101	55	115	50	3	86	212	243	5	230
⑫	再生利用者への処理委託量(t)	3446	58	11	115	50	2	92	138	391	28	182
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	43	44	0	0	1	0	96	0	0	49

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

	廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	がれき類	がれき類	混合廃棄物
	名称(任意の名称を記入してください)	建設汚泥	その他廃プラスチック	建設工事の紙くず	建設工事の木くず	その他金属くず	その他ガラス、コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	その他がれき類	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	管理型建設混合廃棄物
①	排出量(t)	2600	80	50	90	40	2	70	180	300	25	180
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩	処理委託する全量(t)	2600	80	50	90	40	2	70	180	300	25	180
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	80	50	90	40	2	65	163	186	4	179
⑫	再生利用者への処理委託量(t)	2600	46	10	90	40	1	70	106	300	25	142
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	34	40	0	0	1	0	74	0	0	38